

平成30年 日本民間放送連盟賞 4部門で優秀賞受賞



「つながる@萩大島船団丸」



「こどもは島の宝物」「のんちゃんの島の学校」

今年の日本民間放送連盟賞で、山口放送は、ラジオ、テレビ番組や放送活動など、4つの部門で優秀賞を受賞することとなりました。民放連盟賞の表彰式は、11月7日に東京で開かれる民間放送全国大会で行われます。

■ 番組部門 テレビ 教養番組 優秀賞

「つながる@萩大島船団丸」

平成30年5月26日(土) 13:00～13:55

萩市大島を拠点にする漁師集団・萩大島船団丸。

漁師自らが鮮魚を箱詰めしお客さんに直送する新たなビジネスを始めました。彼らに欠かせないのはスマホ。以前は“魚を市場に出したら終わり”だった漁師たちが、SNSや電話で直接お客さんとやりとりし、つながっています。新たな取り組みで漁業の未来を模索する海の男たちの奮闘記です。

□ 講評

スマートフォンによる鮮魚の「直販」や漁業のスタディツアーなど、従来のやり方にとらわれない姿勢は、地場産業の活性化に頭を悩ませる他の地域や産業の参考になる。

■ ラジオ 教養番組 優秀賞

「こどもは島の宝物 ～平郡東小学校の6年間～」 平成30年5月27日(日) 10:00～10:50

山口県柳井市の沖合20キロに浮かぶ平郡島(へいぐんとう)。本土からは定期船で1時間40分。人口は、400人に満たない過疎の島です。6年前に開校した平郡東小学校をこの春、松川洵子さんは卒業しました。2007年に神奈川から島に越してきた松川さん一家。洵子さんは島のみんなから「のんちゃん」と親しまれ育っていきます。開校した小学校には新たに熱血先生も赴任して島はどんどん賑やかに。その後新しく新入生もやってきて子供たちは島の大人たちに宝のように優しく包まれながら成長していきます。平郡東小学校の開校から6年間を追いました。

□ 講評

島の人たちが彼女に寄せる思いなど、様々な要素をうまくまとめている。6年間の時間と労力に賛辞を送りたい。生き生きとした声や音で色々なシーンが目に浮かび、自然と笑みがこぼれる良い番組。

■ 特別表彰部門 青少年向け番組 優秀賞

「熱血テレビスペシャル のんちゃんの島の学校」 平成30年5月26日(土) 9:25～10:20

山口市柳井市の沖合 20 キロに位置する平群島は人口 400 人に満たない過疎の島。のんちゃんこと松川洵子さんは6年前、神奈川県からターンしてきた両親とともにこの島にやってきました。閉校していた島の小学校はのんちゃんのために再開。この春、その後入学した5人の在校生に送られて卒業した洵子さんの成長と、島の学校の6年間の記録です。

□ 講評

のんちゃんが生きる力を獲得していく過程が画面から伝わってくる。地域の問題を肩に力を入れずに伝えており、登場する人々と取材者が、のんちゃんの成長を自分の子供の成長の様に見つめる、温かい眼差しが感じられる。

■ 特別表彰部門 放送と公共性 優秀賞

「弾除け神社の奉納写真 33年の返還と放送活動」

山口放送では、戦時中神社に奉納された写真を家族に返す取り組みを取材し続けています。より多くの写真が返還されるよう、神社の取り組みを33年間にわたって放送。写真の裏に書かれた住所を訪ねる取材により、実際に取材班が写真を返還することもありました。現在はウェブサイトでの情報発信やラジオキャンペーンなど、多角的な活動を行っています。

□ 講評

取材と放送が写真の返還先を探す取り組みとなったこと、写真の存在を多くの人に知ってほしいという思いから、他の放送局の番組やインターネットなど多くの媒体に返還活動が取りあげられるよう努めたことが評価された。



山口市徳地にある三坂神社



戦時中神社に奉納された写真

■ 日本民間放送連盟賞について

日本民間放送連盟賞(連盟賞、英文名:JBA Awards)は、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動のより一層の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟(民放連)が1953(昭和28)年に創設した賞です。民放連の会員である全国の民放各社から参加のあった番組・事績を対象に毎年1回実施し、優れた番組、優秀と認められた事績を顕彰しています。表彰は、毎年秋に開催する「民間放送全国大会(民放大会)」の式典席上で行われます。